

信州大学における「学術コンサルティング制度」について

令和7年10月1日より「技術指導契約」は「学術コンサルティング契約」に移行しました。

▶ 本制度のポイント

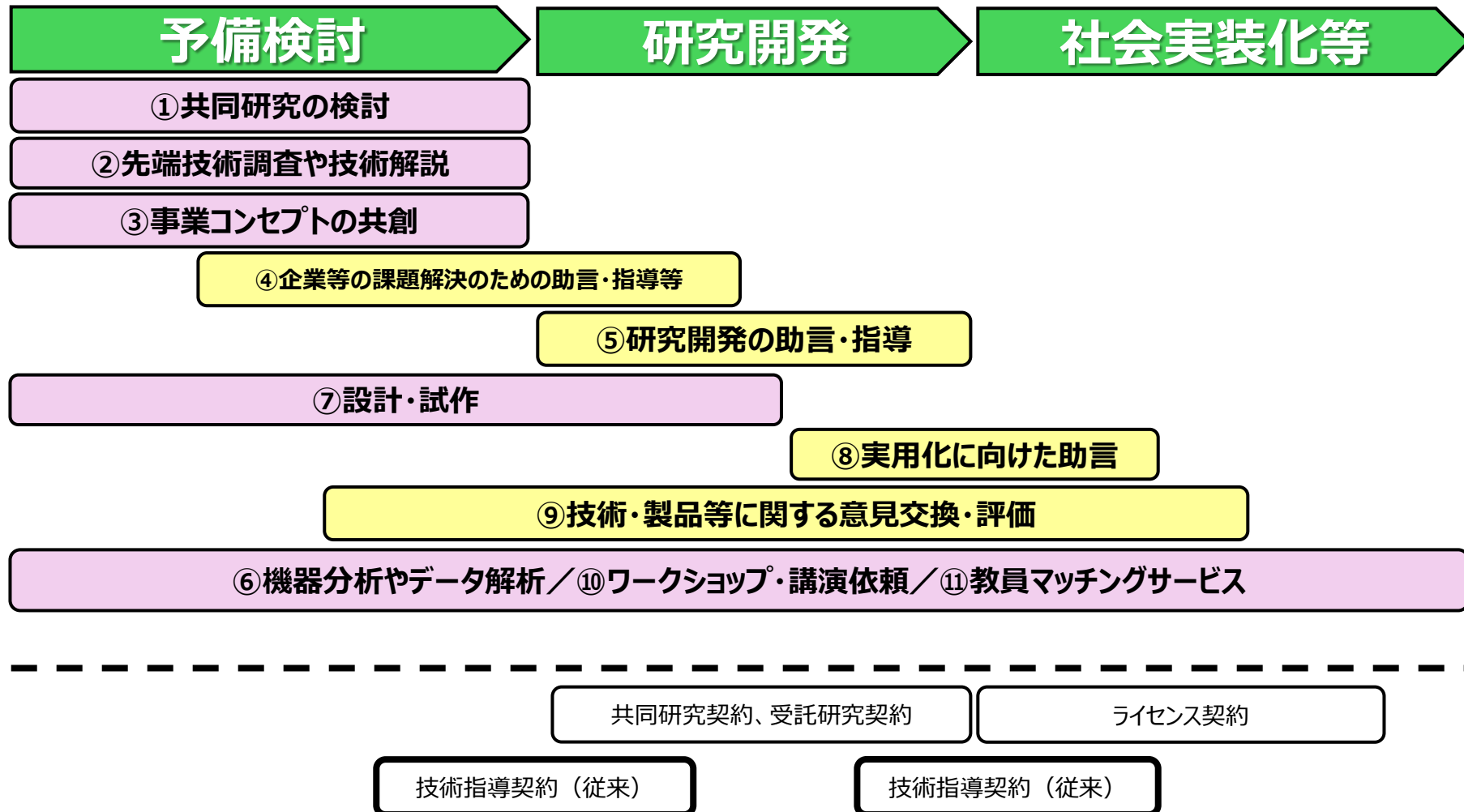
- ① 従来の技術指導に加え、共同研究の検討、先端技術調査・技術解説、事業コンセプト共創、設計・試作、機器分析・データ解析、ワークショップ・講演依頼、教員マッチングサービス 等も学術コンサルティングとして受入可能となります。
- ② 学術コンサル料のうち「指導料」の標準単価は、3万円から5万円／時間以上となります。
- ③ 学術コンサルティング料が500万円以下の場合は「約款方式」により手続き簡略化し、早期に学術コンサルティングを開始できます。
- ④ 本学の教員はもとより、URA等研究支援人材、技術職員、事務職員に、学術コンサルティングの委託が可能です。

学術コンサルティングの適用事例

学術コンサルティングは、従来の「技術指導契約」よりも適用範囲が拡大されました。

■ 学術コンサルティング制度より追加適用となった事例

■ 従来の技術指導契約より適用されていた事例



学術コンサルティングの経費

学術コンサルティングの標準単価は3万円から5万円／時間以上となります。

	経費内訳		単価設定
直接経費	指導料	[指導料・作業料] 指導時間や作業時間およびそれに要する時間(準備等)に、標準単価を乗じた料金。	標準時間単価として、 3万円から5万円/時間以上。 ※技術職員や事務職員は1.5万円以上。
		[知的資産の対価] 大学に蓄積された情報・データ、資料、画像等(作業時間を要しないが価値のあるもの)を提供する場合の料金。	提供する資料等の価値による。 ex. 未公開の特許出願書類
	マッチング経費	URA等研究支援人材が、企業等と教員をマッチングさせるために必要となる料金。	※指導料に準ずる。
	必要経費	物品費、旅費、機器等関連経費、調査費、イベント・成果発表関連経費、人件費、消耗品等の経費 等の経費。	本学規程や見積額による。
間接経費		直接経費以外に必要となる管理的経費。 直接経費の40%に相当する額。	本学規程や見積額による。

コンサルティング料の積算例

事例 1

研究開発に対する指導・助言

[担当] 教授 1名

連携可能性を検討するために、東京本社で開催される開発会議に出席し、30分間のプレゼンと質疑応答、意見交換等を行う。

経費	回数・時間	単価 (円)	小計 (円)
指導料	[指導料] 事前準備 2H 会議・打合せ 2H 事後フォロー 1H 合計5時間	50,000	250,000
	[移動時間] 往復6H ×1回	7,000	42,000
必要経費	[旅費] 東京出張(日帰り) 1回	15,000	15,000
間接経費（直接経費の40%）			118,800
合計金額			425,800

事例 2

機器分析やデータ解析

[担当] 助教 1名

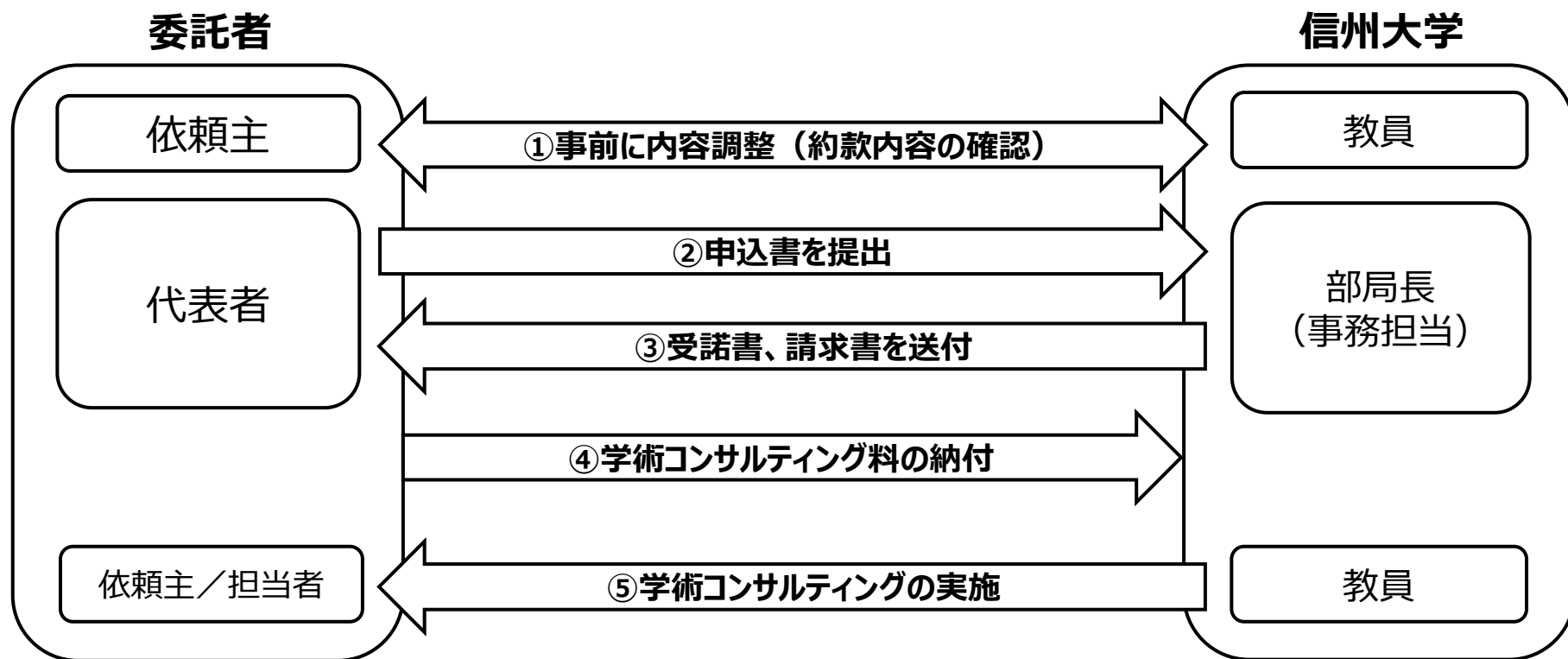
企業のサンプル(2種類)について、大学保有の測定機器で強度を測定し、測定結果について解析し、想定用途への適否についてコメントする。※研究要素はなく、専門家としての評価コメントのみ行う。

経費	回数・時間	単価 (円)	小計 (円)
指導料	[指導料] 事前準備 1H サンプル調整・測定 1H データ解析・評価 2H 合計4時間	30,000	120,000
必要経費	消耗品費（試薬等） 機器使用料 2H	10,000 5,000	20,000
間接経費（直接経費の40%）			56,000
合計金額			196,000

約款方式の手続き

学術コンサルティング料が500万円以下の場合は、約款方式（申込書と受諾書による手続き）により実施します。

※ 契約書による取り交わしを希望される場合はその旨、申し出ください。



■ 学術コンサルティング制度に関する問い合わせ

信州大学 研究推進部 産学官地域連携課
メール kensui-keiyaku@shinshu-u.ac.jp

■ 学術コンサルティングの申込窓口

教員が所属する学部の事務担当へご連絡ください。